

令和6年度 保育園の自己評価

テーマ「子どもたちが自ら育つために「共感と対話・よく観る目とよく聴く力」を大切に！」

○当園が目指す保育とは？

- ・日々の子ども達の姿から保育者同士で語り合い、一人一人の思いを大切に、「たのしい！」「はっけん！」「やってみたい！」を叶える保育を紡ぎ出すこと。
- ・子ども達が安心感を持って自己発揮し、友だちや保育者と生活や遊びを通して経験を積み重ねていける保育。

○その保育を実現するための課題

- ・子ども理解を深める（対話から信頼関係を深め遊びの展開・生活の充実を図る）
- ・子どもたちが自ら育つ力は安心感から育まれる ・子どもの育ちを保護者と共有する

○課題改善に向けての取り組み

- ・こども会議（ようちえん会議）5歳児
- ・コードモンのおたより帳完全導入
- ・法人勉強会での外部講師依頼（※2、※3）
- ・小学校との接続（移行支援）
- ・ポートフォリオについて保護者アンケート

○令和7年度の取り組みへのバトン

新年度始まってすぐの4月3日9時前に台湾で起こったマグネチュード7.2の地震による津波警報が発令された。素早く連携をとりアワセハーバーサイドビル屋上に避難することができた。その後反省会を設け避難場所を再検討。津波が高い場合や天候など留意し状況によっては「リッチリゾン AWASE ホテル」も避難場所として受け入れてもらえることとなった。11月の沖縄市合同避難訓練では実際にリッチリゾン AWASE ホテルへ避難訓練を行った。

今年度から0・1・2歳児のおたより帳をコードモン（ICT）での配信へ完全移行。写真を添付することで保育園での様子がより伝わりやすくなったと保護者からの声がある一方、手書きの時よりも家庭からのおたよりを記載するのが減ったように感じる為、双方のやりとりが今後の課題となる。

前年度の課題として令和4年度から続けているポートフォリオについてアンケートを実施できた（64世帯中61世帯からの回答）全体的に子どもの姿の共有ができ、家庭でもポートフォリオを通して会話のツールになっているとの嬉しい声が多数で保育士のモチベーションもあがり励みにもなった。今後の課題も見えてきたので活かしていきたい（保護者からの案で背表紙に名前があるといいな・・・との声は7年度からすぐに取り入れ改善予定）

前年度から始めた未満児の保護者参加行事を今年度も子どもに無理なく親子で楽しめる内容を検討し保護者同士のコミュニケーションにつながるよう計画し実施した。反省点としては3・4・5歳児のファミリースポーツデーと内容が重なったものもあり、兄弟児がいる保護者から全体で行なっても良いのではとの疑問もでた。しかし、親子の触れ合いの特別感を持ってほしい願いもあり、次年度は内容の見直しも全体のバランスを見ながら計画していきたい。

また、5年度から再開した卒園児の成人祝いに続き、6年度は卒園した幼稚園～小6年生との交流を再開。以前は高校生までお知らせを配布していたが、部活などで参加者も少ないことから再開にあたり小学生までの交流とし、その後は成人祝いで交流することとなった。参加した子ども達の学校での様子を聞いたり良いコミュニケーションの場となった。

5歳児の活動として「こども会議（ようちえん会議）」を行った。子どもたちがやりたいことを話し合い計画していくことで、活動の幅も広がりとても良かった。次年度も取り組んでいきたい。

法人勉強会では外部講師を年2回招いた（8月：1月：羽地知香先生（※1、※2））勉強会を通して、両園沢山の意見を共有することで子ども達の活動に活かしていきたいとワクワクする内容だった。一つ一つのあそびには必ず非認知能力を育てたり、発達の視点など大切なものがあると再認識！こども達に寄り添いながら、楽しい環境を整えるだけでなく、大人の関りの大切さも改めて感じる事ができた学び多い時間となった。令和7年度も保育所保育指針を基盤にしながら、その子の「今」を大事に、子どもたちの色々な気持ちに寄り添い丁寧に関わりながら子ども達と共に楽しんで保育していきたい。

※1
「ワクワクたのし～を体験
を通して学ぶ」



※2
「環境構成から考える子どもの
あそびと発達～インクルーシブ
な視点を抑え～」